

# 安全報告書

2019年度

有限会社 かなわ観光

## 目 次

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて	P 2
1. 輸送の安全に関する基本的な方針(安全方針)	P 2
2. 輸送の安全に関する目標(安全目標)及び達成状況(2019年度)	P 2
3. 輸送の安全に関する行動計画	P 3
4. 輸送の安全のために講じた措置(2019年度)	P 3
5. 輸送の安全のために講じた措置(2019年度)	P 3
6. 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況	P 3
7. 輸送の安全に関する目標(2020年度)	P 4
8. 輸送の安全のために講じようとする措置(2020年度)	P 4
9. 安全統括管理者	P 4
10. 安全管理規程	P 4

## 運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

当社の貸切バス事業において、「**輸送の安全の確保**」「**安全最優先**」は、経営の基本となるものである。国においても、経営トップから現場まで一丸となり安全管理体制を構築・改善することにより輸送の安全性を向上させることを目的とした輸送安全マネジメント制度が導入された。当社としてはセーフティーバス★1つ星を取得し、さらに安全運行の徹底が求められる。

昨年、貸切バス事業として初めての許可更新を行ったため、今後は安全投資計画や整備サイクルの確実な実施とともに、改めて経営トップ以下全員で旅客と運行の安全第一を徹底し、安全方針、安全目標、行動計画を遵守し、運輸安全マネジメントに積極的に取り組んで行く事とする。

### 1. 輸送の安全に関する基本的な方針(安全方針)

- 経営トップ以下全社員で旅客と安全第一を徹底する
- 法令や規則の遵守
- 継続的な安全管理体制の改善

### 2. 輸送の安全に関する目標(安全目標)及び達成状況(2019年度)

- 創業以来事故0を続けているので継続して事故0を目標とする
- 飲酒運転の根絶をはかる

(1)2019年度 輸送の安全に関する目標

①重大事故(死傷事故) ゼロ

※ 重大事故とは自動車事故報告規則に定める事故とします。

②飲酒運転 ゼロ

(2)目標の達成状況

①重大事故(死傷事故) ゼロ達成

◇ 国土交通大臣に対して自動車事故報告書を提出した事故(死傷事故) 0件

◇ 自動車事故報告規則第2条第11号に該当するもの(車両故障) 0件

②飲酒運転 ゼロ達成

### 3. 輸送の安全に関する行動計画

- 定期的に社長、運行管理者、社員、乗務員で安全会議を開催し、事故防止ならびに情報交換を行う。
- 年1回、経営トップから全社員に対し安全方針の周知を図ることを目標とした安全推進会議を開催する。
- 新型車両への入れ替えを計画的に行い車齢の引き下げによる修繕費の軽減を図り、安全対策費を確保する。

### 4. 輸送の安全のために講じた措置(2019年度)

(有)かなわ観光では、安全管理のPDCAサイクルに基づき、安全マネジメント会議等を通じて、安全重点施策や事故・災害に対する安全対策の進捗状況を確認のうえ、見直しや改善を行い、継続的に輸送の安全の向上を図っています。

#### (1)教育の実施

- ① 「指導及び監督の指針」に基づく年間を通じた指導教育  
安全会議を実施
- ② ドライブレコーダー(全車設置済み)映像を活用したヒヤリハットなどの検証と指導、飲酒運転防止、健康管理の徹底などの指導を実施。
- ③ 運転適性診断及び診断結果に基づく個人指導

#### (2)安全対策

- ① 「衝突軽減ブレーキ」等のASV装置の導入拡大
- ② 健康診断、睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査の実施
- ③ 点呼時のアルコール検査

### 5. 輸送の安全に関する情報の伝達体制その他の組織体制

別紙「安全管理組織体制図」参照

### 6. 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

- 乗務員年間指導計画に基づき、定期的な安全会議を実施(年4回)
- 国交省の「指導及び監督の指針」に基づく教育項目を実施
- ヒヤリハット情報、ドライブレコーダーの映像記録等の活用
- 運転適性診断及び診断結果に基づく研修

## 7. 輸送の安全に関する目標(2020年度)

① 重大事故(死傷事故) ゼロ

※ 重大事故とは自動車事故報告規則に定める事故とします。

② 飲酒運転 ゼロ

## 8. 輸送の安全のために講じようとする措置(2020年度)

### (1)教育の実施

- ① 「指導及び監督の指針」に基づく年間を通じた指導教育
- ② ドライブレコーダー(全車設置済み)映像を活用したヒヤリハットなどの検証と指導、飲酒運転防止、健康管理の徹底などの指導を実施。
- ③ 運転適性診断及び診断結果に基づく個人指導
- ④ 異常時対応訓練

### (2)安全対策

- ① 「衝突軽減ブレーキ」等のASV装置の導入拡大
- ② 健康診断、睡眠時無呼吸症候群(SAS)検査の実施
- ③ 点呼時のアルコール検査
- ④ ウィルス対策として除菌機(オゾン脱臭&UV除菌ライト)を設置

## 9. 安全統括管理者

代表取締役社長 西岡 透

## 10. 安全管理規程

別紙「安全管理規程」参照